外来担当医表

		月	火	水	木	金	土
午前 9：00～12：00	内科	青山(龍) 高見	市原 田邉	松本 山口	市原 青山(龍)	松本 青山(龍)	市原 松本
	整形外科 外科	岡庭	岡庭	岡庭	岡庭	院長	第1.3院長 第2.4.5岡庭
	小児科	長江 木村	長江	長江 木村	木村	長江 木村	長江 木村
	検査	胃カメラ 腹部エコー 松本			胃カメラ 腹部エコー 松本 頸動脈エコー		
午後 14：00～16：00	内科	市原	青山(龍)	市原	松本	山本	
	整形外科 外科						
	小児科	長江	長江	予防接種 乳児健診	木村	木村	
	検査	大腸ファイバー 松本・田邉 頸動脈エコー	心エコー 市原	胃ろう交換 工藤・松本 頸動脈エコー	心エコー市原 シャント・ PTA		
夕方 16：30～17：00	小児科	予防接種				予防接種	
夜間 17：30～19：30	内科	市原 第1.3.5越野 第2.4代務医		青山(龍) 小坂		松本 第1.3.5野口 第2.4杉山	
	整形外科 外科	岡庭		勝野		岡庭	
	小児科	木村		木村		長江	

周辺地図

＜職員募集＞　看護師･准看護師　担当　益田･菊池　／　薬剤師･臨床検査技師　担当　菊池

笑顔

病院広報誌　夏号　No.38
平成２７年８月発行
編集・発行/青山病院広報委員会

医療法人　青山病院
内科、胃腸科、循環器科、整形外科、外科、小児科、アレルギー科
リハビリテーション科、放射線科、血液透析センター
瀬戸市南山町1-53
TEL（0561）82－1118
http://www.seto-aoyama.jp
小児科予約　http://b.inet489.jp/aoym1118/
小児科予約用

基本理念

- 思いやりと対話の医療を推進します。
- 安全で納得できる医療を目指します。
- 病める人々の権利とプライバシーを尊重します。

最新のマルチスライスCTでより安全な精密検査が受けられます

～従来よりも被ばく線量が低減され、検査時間が大幅に短縮されました～

当院では、新しくマルチスライスCTスキャナを設置しました。

この装置は、同時に１６列の断面（マルチスライス）が撮影でき、瞬時に細かい画像が得られます。検査では、患者様が寝台に横になるだけで、苦痛なく全身の断層像（輪切り）が鮮明に撮れます。とくに、らせん状に連続してデータを収集する（ヘリカルスキャン）ことができ、従来の装置の約４分の1の時間で検査が行えるようになり、患者様の息止めも楽になりました。

マルチスライスCTは、脳疾患・頭部外傷から胸部疾患および腹部臓器（肝・胆・膵・腎・膀胱・その他）疾患にいたるまで、全身の画像診断が可能です。また、患者様に最適な線量を計測し低線量におさえる機能を搭載して、被ばく線量が最大75%まで低減されたので、患者様はリラックスしながら検査を受けていただけます。

ＣＴの検査についてのご質問ご相談は、医師にお尋ねください。

超音波診断装置（エコー）を更新しました

この度、超音波診断装置（エコー）を更新しました。

超音波診断装置はX線撮影やCTと違い、放射線をあてて画像を得るのではなく、対象となる臓器に超音波を発射し、反射した超音波を受信・解析する事で画像を得るため、被ばくなしに体の内部を見る事が出来る装置です。

超音波は骨で囲まれた頭蓋内などを除いた、体のほとんどの部位を検査することが出来ます。また、超音波診断装置の特徴として、リアルタイムに画像が得られる点があり、心臓の動きや血液の流れなど、動きのある物を測定する事が出来るため、他の検査にはない診断が可能になっています。

新しい装置では、最新技術を使った機能や臨床アプリケーションを搭載し、従来と比べて画像の解像度や鮮明さが増し、より低速な血流を検出出来るようになった事などにより、今までは分かりにくかった細かい病変をとらえることが出来るようになっています。

超音波の検査についてのご質問ご相談は医師にお尋ねください。

委員会紹介　「広報委員会」

広報委員会はより地域に密着した医療機関を目指して、平成１８年１月に旧ＨＰ作成プロジェクトチームと旧入院案内・パンフレット検討部会を再編統合され新しく生まれ変わりました。平成１７年１１月のホームページ作成（平成２１年５月大規模リニューアル）を皮切りに、平成１８年４月より青山病院広報誌「笑顔」を創刊し、以降年4回（春号・夏号・秋号・冬号）発行しております。また平成１８年１１月には入院案内の作成（平成２２年７月改定）、平成１９年６月には病院パンフレットの作成（平成２４年４月改定）を行っています。その他、平成２０年１２月より院内広報誌「おもいやり」（内容：病院イベント、アンケート調査、我が家のペット、おススメ簡単レシピ、新入職員紹介、部員募集など）を発行し、職員間のコミュニケーションツールとして話題提供しております。

広報委員会では地域の皆様や患者様に少しでも有益な情報を提供し利便性が向上するように努めてまいります。また、青山病院のことをよく知ってもらい、ご理解いただけるように情報公開に努めたいと考えております。何かお気づきのことがございましたら、どうぞご意見・ご感想をお寄せください。

看護助手について（手術室・中央材料室所属）　石川亜樹

手術室・中央材料室（中材）は西棟５階にあり、南側全面大きな窓に面しており、とても見晴らしの良い所にあります。

中材では看護助手２名のスタッフで医療物品（ピンセットやハサミなどの鋼物やガーゼ）の管理業務、また２台の滅菌装置や洗浄装置の設備を保有しておりますので、手術や検査、病棟で使用する物品の洗浄、消毒、滅菌などを行っております。

滅菌とは全ての微生物から生命力を奪うことです。中材には、高圧蒸気滅菌器（ＡＣ）とエチレンオキサイドガス滅菌器（ＥＯＧ）があり、ＡＣは１３５℃の高圧蒸気で全ての微生物を死滅させ、ゴム製品のように高熱に耐えられないものは低温のＥＯＧを使用し医療器材の感染防止に努めています。

手術室は２室あり、中材とは中でつながっていて、手術準備から片付けまで連係して動くことが出来るようになっています。手術室での業務は、予定手術に応じた必要物品の滅菌が期限切れなどしていないかを確認し、不足がないように準備し、当日は、手洗いを終えた医師や、看護師のガウンテクニック、オペ室清掃、器械の洗浄、滅菌を業務としております。

その他の業務としては手術等で使用する穴あきコンプレッセンや車いすの足を載せる所のカバー、ベッドカバーなどの裁縫もしています。

私達は直接患者様と接する事はございませんが、医療物品を確実に安全に供給するという大変重要な役目をまかされており、これからも日々感染防止を心がけ細かな作業も怠らず、責任をもって仕事に取り組んでいきたいと思っております。

～　中材からみた風景　～

デジタルタワー